

STEP 1 2. 複数の条件で処理を切り替える IFS(イフス)

1. 表を用意しましょう

	A	B	C	D	E	F
1	IFSの練習					
2	番号	名前	国語	国語の評価	数学	
3	1	梅沢 薫	83		59	
4	2	梅本 たまき	100		71	
5	3	小畑 俊介	38		32	
6	4	笥 花	80		80	
7	5	金山 大五郎	56		90	
8	6	木本 綾女	41		43	
9	7	城咲 丈雄	92		68	
10	8	土屋 亮	81		60	
11	9	中西 法子	45		76	
12	10	沼田 孝太郎	92		80	
13	11	半田 なぎさ	63		55	
14	12	藤本 真希	70		36	
15	13	古田 友香	50		92	

1 ファイル「2 IFSの練習」を開きます。

ファイル「2 IFSの練習」が見つからないときは教室の先生にお尋ねください。

2. テーブルに変換しましょう

	A	B	C	D	E	F	G
1	IFSの練習						
2	番号	名前	国語	国語の評価	数学	数学の評価	評価の基準
3	1	梅沢 薫	83		59		90~100
4	2	梅本 たまき	100		71		70~89
5	3	小畑 俊介	38		32		50~69
6	4	笥 花	80		80		0~49
7	5	金山 大五郎	56		90		
8	6	木本 綾女	41		43		
9	7	城咲 丈雄	92		68		
10	8	土屋 亮	81		60		
11	9	中西 法子	45		76		
12	10	沼田 孝太郎	92		80		
13	11	半田 なぎさ	63		55		
14	12	藤本 真希	70		36		
15	13	古田 友香	50		92		
16	14	森 進	74		60		
17							

1 セル「B2」～「G16」を選択します。

2 「挿入」をクリックします。

3 「テーブル」をクリックします。

番号	名前	国語	国語の評価	数学	数学の評価	評価の基準
1	梅沢 薫	83		59		90～100
2	梅本 たまき	100		71		70～89
3	小畑 俊介	38		32		50～69
4	笥 花	80		80		0～49
5	金山 大五郎	56		90		
6	木本 綾女	41		43		
7	城咲 丈雄	92		68		

4 「先頭行を…」にチェックが入っていることを確認します。

5 「OK」をクリックします。

テーブルの作成

テーブルに変換するデータ範囲を指定してください(W)

\$B\$2:\$G\$16

先頭行をテーブルの見出しとして使用する(M)

OK キャンセル

3. IFS関数を使って国語の評価を表示しましょう

1 セル「E3」を選択します。

2 「関数の挿入」をクリックします。

評価は次の基準で決定します。

90 ~ 100	やるねえ
70 ~ 89	ええやん
50 ~ 69	まあまあかな
0 ~ 49	どないしたん

番号	名前	国語	国語の評価	数学	数学の評価	評価の基準
1	梅沢 薫	83		59		90～100
2	梅本 たまき	100		71		70～89
3	小畑 俊介	38		32		50～69
4	笥 花	80		80		0～49
5	金山 大五郎	56		90		
6	木本 綾女	41		43		
7	城咲 丈雄	92		68		
8	土屋 亮	81		60		
9	中西 法子	45		76		
10	沼田 孝太郎	92		80		
11	半田 なぎさ	63		55		
12	藤本 真希	70		36		
13	古田 友香	50		92		

関数の挿入

関数の検索(S):
何がしたいかを簡単に入力して、[検索開始] をクリックしてください。 検索開始(G)

関数の分類(C): 論理

関数名(N):
AND
FALSE
IF
IFERROR
IFNA
IFS
LET

IFS(論理式,値が真の場合,...)
1 つ以上の条件が満たされるかどうかを確認し、最初の真条件に対応する値を返します

この関数のヘルプ

OK キャンセル

3 関数の分類を「論理」に変更します。

4 関数名の「IFS」をクリックします。

5 「OK」をクリックします。

関数の引数

IFS

論理式1 D3 >= 90 = FALSE

値が真の場合1 やるねえ =

論理式2 = 論理

1 つ以上の条件が満たされるかどうかを確認し、最初の値が真の場合1: は論理式が

数式の結果 =

この関数のヘルプ(H)

OK キャンセル

6 論理式1に「D3>=90」を値が真の場合1に「やるねえ」を入力します。

1つ目の評価の基準は
国語が 90~100 やるねえ

1つ目の論理式を入力すると、論理式2の枠が表示されます。

関数の引数

IFS

論理式1 D3 >= 90 = FALSE

値が真の場合1 "やるねえ" = "やるねえ"

論理式2 D3 >= 70 = TRUE

値が真の場合2 ええやん =

論理式3 = 論理

1 つ以上の条件が満たされるかどうかを確認し、最初の値が真の場合2: は論理式が

数式の結果 =

この関数のヘルプ(H)

OK キャンセル

7 論理式2に「D3>=70」を値が真の場合2に「ええやん」を入力します。

2つ目の評価の基準は
国語が 70~89 ええやん

入力の枠は自動的に増えて行きます。

8 スクロールバーの をクリックして、下に隠れている枠を表示します。

関数

IFS

論理式2	D3>=70	= TRUE
値が真の場合2	"ええやん"	= "ええやん"
論理式3	D3>=50	= TRUE
値が真の場合3	まあまあかな	=
論理式4		= 論理
		= "ええやん"

1 つ以上の条件が満たされるかどうかを確認し、最初の真条件に対応する値を返します
値が真の場合3: は論理式が真の場合に返される値です

数式の結果 = ええやん

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

9 論理式3に「D3>=50」を値が真の場合3に「まあまあかな」を入力します。

3つ目の評価の基準は
国語が 50~69 まあまあかな

10 スクロールバーの をクリックして、下に隠れている枠を表示します。

関数

IFS

論理式3	D3>=50	= TRUE
値が真の場合3	"まあまあかな"	= "まあまあかな"
論理式4	TRUE	= TRUE
値が真の場合4	どないしたん	=
論理式5		= 論理
		= "ええやん"

1 つ以上の条件が満たされるかどうかを確認し、最初の真条件に対応する値を返します
値が真の場合4: は論理式が真の場合に返される値です

数式の結果 = ええやん

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

11 論理式4に「TRUE」を値が真の場合4に「どないしたん」を入力します。

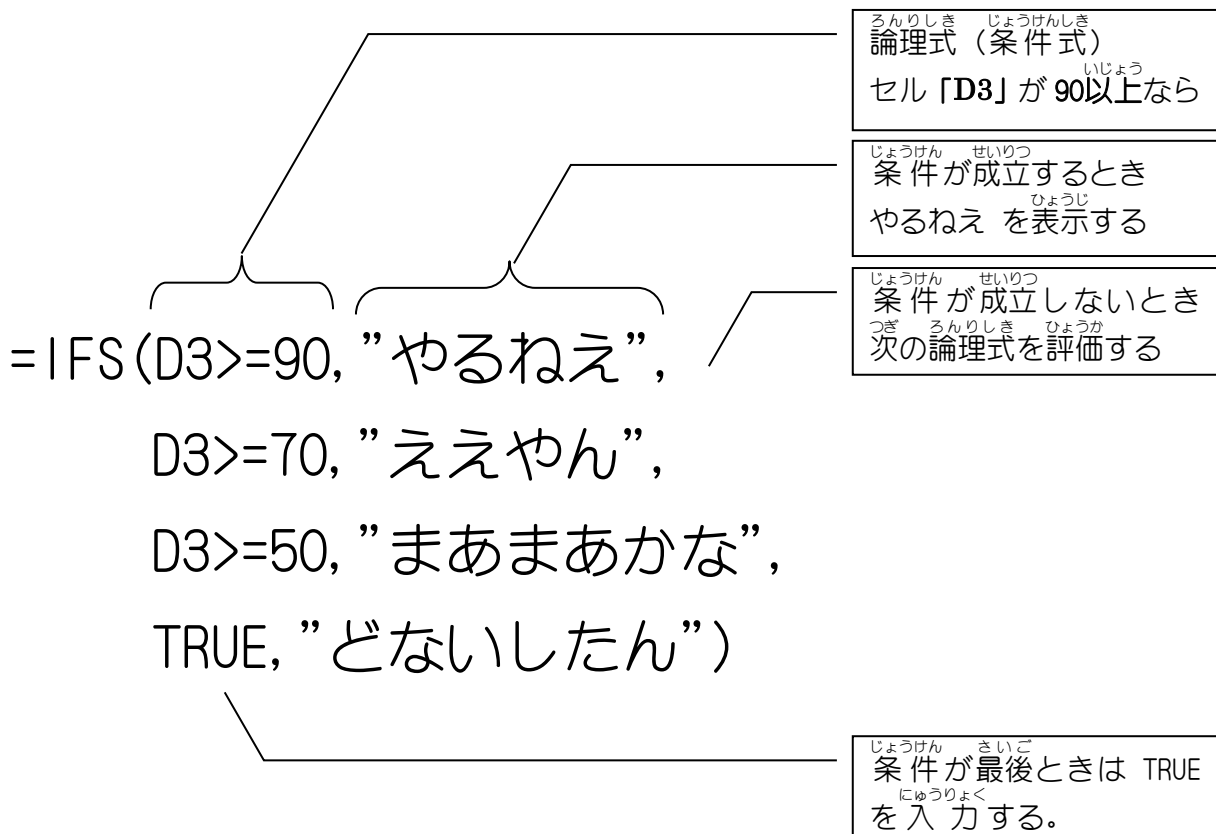
12 「OK」をクリックします。

最後の論理式には
TRUE を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		IFSの練習						
2		番号	名前	国語	国語の評価	数学	数学の評価	
3		1	梅沢 薫	83	ええやん	59		90~100
4		2	梅本 たまき	100	やるねえ	71		70~89
5		3	小畑 俊介	38	どないしたん	32		50~69
6		4	笥 花	80	ええやん	80		0~49
7		5	金山 大五郎	56	まあまあかな	90		
8		6	木本 綾女	41	どないしたん	43		
9		7	城咲 丈雄	92	やるねえ	68		
10		8	土屋 亮	81	ええやん	60		
11		9	中西 法子	45	どないしたん	76		
12		10	沼田 孝太郎	92	やるねえ	80		
13		11	半田 なぎさ	63	まあまあかな	55		
14		12	藤本 真希	70	ええやん	36		
15		13	古田 友香	50	まあまあかな	92		
16		14	森 進	74	ええやん	60		
17								
18								

すうがく ひょうか
数学の評価が
ひょうじ
表示されました。

解説 IFS (イフス) 関数



ポイント IFS (イフス) 関数

「論理式」を前から順番に確認し、「論理式」が成立した時 (TRUE になった時) の「値が真の場合」の値を返します。

IFS (論理式1, 値が真の場合1

[, 論理式2, 値が真の場合2, . . .])

- 「論理式」と「値が真の場合」はペアで最大127個指定できます。
- 全ての論理式が TRUE にならなかった場合はエラーを返すので、最後の論理式には「TRUE」を入力します。

練習問題

- セル「G3」～「G16」に数学の評価を表示しましょう。

- 評価は次の基準で決定します。

90 ~ 100	やるねえ
70 ~ 89	ええやん
50 ~ 69	まあまあかな
0 ~ 49	どないしたん

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		IFSの練習							
2		番号	名前	国語	国語の評価	数学	数学の評価		評価の基
3		1	梅沢 薫	83	ええやん	59	まあまあかな		90~100
4		2	梅本 たまき	100	やるねえ	71	ええやん		70~89
5		3	小畑 俊介	38	どないしたん	32	どないしたん		50~69
6		4	寛 花	80	ええやん	80	ええやん		0~49
7		5	金山 大五郎	56	まあまあかな	90	やるねえ		
8		6	木本 綾女	41	どないしたん	43	どないしたん		
9		7	城咲 丈雄	92	やるねえ	68	まあまあかな		
10		8	土屋 亮	81	ええやん	60	まあまあかな		
11		9	中西 法子	45	どないしたん	76	ええやん		
12		10	沼田 孝太郎	92	やるねえ	80	ええやん		
13		11	半田 なぎさ	63	まあまあかな	55	まあまあかな		
14		12	藤本 真希	70	ええやん	36	どないしたん		
15		13	古田 友香	50	まあまあかな	92	やるねえ		
16		14	森 進	74	ええやん	60	まあまあかな		

- 保存せずに閉じます。

STEP 1 3. 列の表示と非表示

1. 万年カレンダーを仕上げましょう

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			2025 年								
2			2 月								
3											
4	2025/2/1	2	1	土		2025/2/16	2	16	日		
5	2025/2/2	2	2	日		2025/2/17	2	17	月		
6	2025/2/3	2	3	月		2025/2/18	2	18	火		
7	2025/2/4	2	4	火		2025/2/19	2	19	水		
8	2025/2/5	2	5	水		2025/2/20	2	20	木		
9	2025/2/6	2	6	木		2025/2/21	2	21	金		
10	2025/2/7	2	7	金		2025/2/22	2	22	土		
11	2025/2/8	2	8	土		2025/2/23	2	23	日		
12	2025/2/9	2	9	日		2025/2/24	2	24	月		
13	2025/2/10	2	10	月		2025/2/25	2	25	火		
14	2025/2/11	2	11	火		2025/2/26	2	26	水		
15	2025/2/12	2	12	水		2025/2/27	2	27	木		
16	2025/2/13	2	13	木		2025/2/28	2	28	金		

STEP9 で保存した「万年カレンダー」を開きます。

2月のカレンダーをよくみると、2月28日の次に3月の日付が表示されていますね。途中で日付の月が変わった場合、次の月の日付は表示されないように IF (イフ) 関数を使って表示しないようにしましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			2025 年								
2			2 月								
3											
4	2025/2/1	2	1	土		2025/2/16	2	16	日		
5	2025/2/2	2	2	日		2025/2/17	2	17	月		
6	2025/2/3	2	3	月		2025/2/18	2	18	火		
7	2025/2/4	2	4	火		2025/2/19	2	19	水		
8						2025/2/20	2	20	木		
9						2025/2/21	2	21	金		
10						2025/2/22	2	22	土		
11						2025/2/23	2	23	日		
12						2025/2/24	2	24	月		
13						2025/2/25	2	25	火		
14	2025/2/11	2	11	火		2025/2/26	2	26	水		
15	2025/2/12	2	12	水		2025/2/27	2	27	木		
16	2025/2/13	2	13	木		2025/2/28	2	28	金		
17	2025/2/14	2	14	金		2025/3/1	3	1	土		
18	2025/2/15	2	15	土		2025/3/2	3	2	日		
19						2025/3/3	3	3	月		
20											

セル「C2」とセル「G17」を比べて、2つの値が同じ時はセル「H17」を表示し、それ以外は表示しないようにします。

2. セル「H17」の数式をIF関数を使って書き変えましょう

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			2025	年							
2			2	月							
3											
4	2025/2/1	2	1	土		2025/2/16	2	16	日		
5	2025/2/2	2	2	日		2025/2/17	2	17	月		
6	2025/2/3	2	3	月		2025/2/18	2	18	火		
7	1	セル「H17」をクリックします。				2025/2/19	2	19	水		
8	2025/2/5	2	5	水		2025/2/20	2	20	木		
9	2025/2/6	2	6	木		2025/2/21	2	21	金		
10	2025/2/7	2	7	金		2025/2/22	2	22	土		
11	2025/2/8	2	8	土		2025/2/23	2	23	日		
12	2025/2/9	2	9	日		2025/2/24	2	24	月		
13	2025/2/10	2	10	月		2025/2/25	2	25	火		
14	2025/2/11	2	11	火		2025/2/26	2	26	水		
15	2025/2/12	2	12	水		2025/2/27	2	27	木		
16	2025/2/13	2	13	木		2025/2/28	2	28	金		
17	2025/2/14	2	14	金		2025/3/1	3	1	土		
18	2025/2/15	2	15	土		2025/3/2	3	2	日		
19						2025/3/3	3	3	月		

EOMONTH		: X ✓ fx		=DAY(F17)							
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			2025	年							
2			2	月							
3											
4	2025/2/1	2	1	土		2025/2/16	2	16	日		
5	2025/2/2	2	2	日		2025/2/17	2	17	月		
6	2025/2/3	2	3	月		2025/2/18	2	18	火		
7	2025/2/4	2	4	火		2025/2/19	2	19	水		
8	2025/2/5	2	5	水		2025/2/20	2	20	木		
9	2025/2/6	2	6	木		2025/2/21	2	21	金		
10						2025/2/22	2	22	土		
11						2025/2/23	2	23	日		
12						2025/2/24	2	24	月		
13						2025/2/25	2	25	火		
14						2025/2/26	2	26	水		
15						2025/2/27	2	27	木		
16						2025/2/28	2	28	金		
17						2025/3/1	3	=DAY	土		
18	2025/2/15	2	15	土		2025/3/2	3	2	日		

EOMONTH : fx =if(C2=G17, DAY(F17))

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			2025年								
2			2月								
3											
4	2025/2/1	2	1	土		2025/2/16					
5	2025/2/2	2	2	日		2025/2/17					
6	2025/2/3	2	3	月		2025/2/18					
7	2025/2/4	2	4	火		2025/2/19					
8	2025/2/5	2	5	水		2025/2/20					
9	2025/2/6	2	6	木		2025/2/21					
10	2025/2/7	2	7	金		2025/2/22					
11	2025/2/8	2	8	土		2025/2/23					
12	2025/2/9	2	9	日		2025/2/24					
13	2025/2/10	2	10	月		2025/2/25	2	25	火		
14	2025/2/11	2	11	火		2025/2/26	2	26	水		
15	2025/2/12	2	12	水		2025/2/27	2	27	木		
16	2025/2/13	2	13	木		2025/2/28	2	28	金		
17	2025/2/14	2	14	金		2025/3/1	3	DAY(土		
18	2025/2/15	2	15	土		2025/3/2	3	2	日		

3 「IF(C2=G17,」と入力します。

=IF(C2=G17, DAY(F17))
「,」を忘れずに入力しましょう
赤い字のところに追加しました。

EOMONTH : fx =if(C2=G17, DAY(F17), "")

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			2025年								
2			2月								
3											
4	2025/2/1	2	1	土		2025/2/16					
5	2025/2/2	2	2	日		2025/2/17	2	17	月		
6	2025/2/3	2	3	月		2025/2/18					
7	2025/2/4	2	4	火		2025/2/19					
8	2025/2/5	2	5	水		2025/2/20					
9	2025/2/6	2	6	木		2025/2/21					
10	2025/2/7	2	7	金		2025/2/22					
11	2025/2/8	2	8	土		2025/2/23					
12	2025/2/9	2	9	日		2025/2/24					
13	2025/2/10	2	10	月		2025/2/25	2	25	火		
14	2025/2/11	2	11	火		2025/2/26	2	26	水		
15	2025/2/12	2	12	水		2025/2/27	2	27	木		
16	2025/2/13	2	13	木		2025/2/28	2	28	金		
17	2025/2/14	2	14	金		2025/3/1	3	""	土		
18	2025/2/15	2	15	土		2025/3/2	3	2	日		

4 「, ""」と入力します。

=IF(C2=G17, DAY(F17), "")
となっていることを確認しましょう。
赤い字のところに追加しました。

5 「Enter」キーを押します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1			2025	年							
2			2	月							
3											
4	2025/2/1	2	1	土		2025/2/16	2	16	日		
5	2025/2/2	2	2	日		2025/2/17	2	17	月		
6	2025/2/3	2	3	月		2025/2/18	2	18	火		
7	2025/2/4	2	4	火		2025/2/19	2	19	水		
8	2025/2/5	2	5	水		2025/2/20	2	20	木		
9	2025/2/6	2	6	木		2025/2/21	2	21	金		
10	2025/2/7	2	7	金		2025/2/22	2	22	土		
11	2025/2/8	2	8	土		2025/2/23	2	23	日		
12	2025/2/9	2	9	日		2025/2/24	2	24	月		
13	2025/2/10	2	10	月		2025/2/25	2	25	火		
14	2025/2/11	2	11	火		2025/2/26	2	26	水		
15	2025/2/12	2	12	水		2025/2/27	2	27	木		
16	2025/2/13	2	13	木		2025/2/28	2	28	金		
17	2025/2/14	2	14	金		2025/3/1	3		土		
18	2025/2/15	2	15	土		2025/3/2	3	2	日		
19						2025/3/3	3	3	月		
20											

=IF(C2=G17, DAY(F17), "")

論理式「C2=G17」が成立しないので、偽の場合の「」が表示されました。

表示が消えました。

参考 セルに現れる緑のマークは何？

2025/2/25	2	25	火
2025/2/26	2	26	水
2025/2/27	2	27	木
2025/2/28	2	28	金
2025/3/1	3		土
2025/3/2	3	2	日
2025/3/3	3	3	月

図のようにセルの左上に緑のマークが現れるのは、そのセルの数式が周りのセルの数式と異なっているというExcelからの警告です。数式を確認して問題がないときは、このマークは印刷されないのので、そのままでもかまいません。

練習問題

- セル「I17」の「=F17」を「=IF(C2=G17, F17, "")」に変更しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
13	2025/2/10	2	10	月		2025/2/25	2	25	火		
14	2025/2/11	2	11	火		2025/2/26	2	26	水		
15	2025/2/12	2	12	水		2025/2/27	2	27	木		
16	2025/2/13	2	13	木		2025/2/28	2	28	金		
17	2025/2/14	2	14	金		2025/3/1	3				
18	2025/2/15	2	15	土		2025/3/2	3	2	日		
19						2025/3/3	3	3	月		
20											
21											